



MEIKAI UNIVERSITY

CIAH

凡

平成15年1月20日発行(年2回刊)

<教育後援会だより>
しおかぜ発行/明海大学浦安キャンパス教育後援会
〒279-8550 千葉県浦安市明海8
電話 047-355-5112 FAX 047-355-5117

2003年新春座談会

「これから国際社会に対応するには」 心のミニユーモーションで眞の理解を

浦安キャンパスには、世界の18の国と地域から、学部・大学院等を併せて646人の留学生が在籍している(2002年5月1日現在)。在籍学生等の10%が外国人留学生という国際的な環境の中で、学生たちは互いに違った価値観を持つ友人とコミュニケーションを、どのように図ろうと努力しているのか。そしてこの体験は将来の国際社会の中でどのように活かされるのか。学内・外を問わざる積極的な活動を展開している学生8人に話を聞いてみた。

漢字は難しくて苦手でも、日本でいろんな経験を積んでいます

海外体験は
留学だけとは
限らない

大塚・みなさんには国際人としての感覚をどのように身につけようとしているのでしょうか。それぞれの団体で活躍ですが、その活動を通して感じていることを話してください。

近藤・7月から8月にかけてJALスカラシップボランティアプログラムに参加

どうしても日本人、留学生で固まってしまうせつかくの交流の場が活かせていない

武内瑞季さん
外国语学部日本語学科3年
浦安キャンパス学友会会長
新入生歓迎会、サマーキャンプなどの諸行事を、学友会の先頭に立って実施。日本人学生、留学生が一体となった形で、従来よりいっそう充実させた。

して、オペレーションスタッフとして海外の人たちと接する機会を与えていたきました。私は留学をしたことがないので、ずっとと外国人と接する機会はなかつたけれど、ボランティアに参加して外国の方と接してみて、文化の違いを肌で感じることが出来ました。本やテレビで見ていて、実際に体験をしていくことは重要なことだと身をもつて感じました。

パク・昨年、釜山外国语大学から交換留学生で明海大学に編入しました。日本に来て3年目になりました。日本に来て3年目ですが、漢字が苦手で授業に出てもよくわからないことがあります。日本人の友達に聞こうとしても授業中は、話したらダメ。授業が終わるとバイトなので、すぐ帰ります。



パク・ソンヘさん(韓国)

経済学部経済学科3年

KOREAN学生会会計

明海大の協定校である釜山外国语大学に入学。2001年4月から2002年3月まで、特別聴講生として本学に在学。その後、編入入学している。

学部なら日本人学生と友達になれると思っていた
もつと交流の機会を増やしたい

井垣・4年間女子ラクロス部で活動しました。部活と勉強を両立したいと、それなりに努力したつもりです。2年の夏休みには短期留学で北京に行きました。ラクロス部の主将も務めました。はじめは無理じゃないかと思ふことも、やればできるということですが、4年間部活を通して得たことです。この体験は、一生の宝物です。

浦安キャンパスでは、はじめは無理じゃないかと思ふことも、やればできるということですが、4年間部活を通して得たことです。この体験は、一生の宝物です。

ハリシュ・シャルマさん(インド)
外国语学部日本語学科2年
浦安市内の高校へ出向いたり、障害者との交流を深めるなど、地域のボランティア活動に参加している。

ハリシュ・シャルマさん(インド)
外国语学部日本語学科2年
浦安市内の高校へ出向いたり、障害者との交流を深めるなど、地域のボランティア活動に参加している。

らなければいけない。自分で勉強していますが、漢字がネックです。インドでは外国人と会ったこともなかつたけれど、こちらではいろいろな人との話ができます。もっと積極的に交流に参加したいです。

漢字が

ネックで

す。

2002年度地区懇談会

○東北地区 9月21日(土)
福島市「福島ビューホテル」参加者34人
講演／不動産学部・前川俊一教授「日本経済の現状と不動産市場の展望」

○北陸地区 10月13日(日)
新潟市「オークラホテル新潟」参加者40人
講演／外国語学部・東郷秀光教授「外国人に滞在して観察した人間関係」

○関東地区 10月26日(土)
浦安市「明海大学浦安キャンパス」
参加者192人
講演／経済学部長・高橋乗宣教授「デフレについて考える」

○東海地区 11月9日(土)
清水市「ホテルサンルート清水」
参加者35人
講演／不動産学部・石塚義高教授「ヒートアイランド(都市温暖化)」

今年の地区懇談会は、9月21日東北地区からスタート。10月13日北陸地区、10月26日関東地区、11月9日東海地区で、それぞれ開催された。

高倉翔学長、小泉、成瀬副学長らを迎えて行われた東北地区懇談会は、「日頃、大学に感じている疑問や要望を、どんどん先生方にぶつけてください。そして有意義な懇談会にしてください」という大塚博行教育後援会副会長のあいさつでス

過集団とどらえず、顧客とで、大学側を代表して高倉翔学長があいさつ。大学がエリートだけのものではなく、大衆化して多様なニーズが求められていることに触れ、「旧態依然とした対応をしていては、競争に生き残れない」として、研究に重きを置きがちだった大学の機能を、より教育面にシフトするよう先生方の意識を変える努力をしていること。また、学生を通じて高倉翔学長があいさつ。大学がエリートだけのものではなく、大衆化して多様なニーズが求められていることに触れ、「旧態依然とした対応をしていては、競争に生き残れない」として、研究に重きを置きがちだった大学の機能を、より教育面にシフトするよう先生方の意識を変える努力をして

して考え、満足できる質の高いサービスを提供できるよう、体制を整えていることなどを話した。

そして、その改革のためには取り組みについて、小泉允副学長が説明。社会が求める大学生を送り出すために、一般教養と専門課程のほかに、個人の能力や、社会性を開発するためのリテラシー教育を新たに導入していることや、学科の縦

2002年地区懇談会

今年も4地区で開催

「毎年楽しみにしています」の声も

父母と大学の先生方が、一同に会し、親しく懇談できる場を作ろう—と1994年にスタートした「地区懇談会」が、今年も関東、東北、東海、北陸の4カ所で開催された。互いに交流を深め、有意義なひとときを過ごした。



▲高倉翔学長を囲んで(東北地区)



▲内山薰会長(関東地区)



▲個別面談(北陸地区)



▲大塚博行副会長(東北地区)

**留学相談
コーナーを
新設**

**参加者の
スピーチ**



▲白倉夫妻

菊池秀夫さん・友子さん

詳しい面談をしていただ
き、ありがとうございます

*

森田武さん

3回目の参加です。来春

*

菊池秀夫さん・友子さん

詳しい面談をしていただ
き、ありがとうございます

*

森田武さん

3回目の参加です。来春

*

菊池秀夫さん・友子さん

詳しい面談をしていただ
き、ありがとうございます

*

森田武さん

3回目の参加です。来春

*

菊池秀夫さん・友子さん

詳しい面談をしていただ
き、ありがとうございます

